

文楽

Bunraku
人形浄瑠璃

ついで、

初代国立劇場

文楽最終公演の

幕が開く

57年にわたり、初代国立劇場での文楽を
ご愛顧いただき感謝いたします。

未来へつなぐ国立劇場プロジェクト

初代国立劇場
さよなら特別公演

第一部 午前10時45分開演

通し 菅原伝授手習鑑
すが わら でん じゆ て ならい かがみ

三段目 車曳の段

茶筌酒の段

喧嘩の段

訴訟の段

桜丸切腹の段

四段目 天拝山の段

第二部 午後3時開演

通し 菅原伝授手習鑑
すが わら でん じゆ て ならい かがみ

三段目 北嵯峨の段

寺入りの段

寺子屋の段

四段目 大内天変の段

第三部 午後7時開演

通し 曾根崎心中
そ ね ざき しん じゆう

生玉社前の段

天満屋の段

天神森の段

令和5年8・9月文楽公演

8月31日(木) 〰〰〰 9月24日(日)

※7日(木)・15日(金)は休演 [各部休憩がございます] [字幕表示がございます]

ご観劇料(各部・税込) ※学生・障害者の方は割引あり(他の割引との併用不可)

1等席 8,000円 / 2等席 7,000円

予約開始=7月14日(金) 午前10時

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]

0570 (07) 9900 03 (3230) 3000 [一部IP電話等]

【インターネット】 [国立劇場チケットセンター](#) [検索](#)

窓口販売開始=7月15日(土)

(チケット売場 午前10時~午後6時)

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会

「菅原伝授手習鑑」管丞相 撮影=青木信二

公演協賛： 森平舞台機構株式会社

さよなら記念協賛： 住友生命 東芝ライテック株式会社 (五十音順)

グループ観劇受付中! 03 (3265) 6751

お早めに営業係へ 10名様よりご予約を承ります (平日午前9時30分~午後6時15分)

東京・半蔵門

国立劇場 小劇場

JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

第一部 午前10時45分開演(午後2時20分終演予定)

菅原伝授手習鑑

菅原道真(菅丞相)の悲劇を描いた大作の五月に続く後半部分の上演。菅丞相が讒言によって筑紫に配流された後の展開を描きます。三段目「車曳」桜丸と梅王丸の兄弟は丞相左遷を嘆きつつ、丞相に罪を着せた左大臣・藤原時平を襲うべく、もう一人の兄弟で時平の舎人である松王丸と激しく対峙します。華やかに描かれた様式美の中、三兄弟の個性とともに、彼らが仕える主君たちの立場が政変によって影響を受ける様子が描かれます。

茶筌酒／喧嘩／訴訟／桜丸切腹 三兄弟の父で菅丞相に長年仕えて来た四郎九郎は齡七十を祝し丞相から白太夫の名を拝領します。その誕生日に賀の祝いが行われ、三兄弟の女房たちが集まります。その祝いの場にも政変が影を落とし、ついには悲劇的な結末を迎えるのです。齡を重ねた白太夫の姿そのままに滋味あふれる「佐太村」。悲劇的な最期を遂げる桜丸と見送る人々の嘆きが涙を誘います。

四段目「天拝山」筑紫に流された菅丞相のもとに白太夫と梅王丸がそれぞれ無聊を慰めるため訪れます。梅王丸が取り押さえたのは丞相殺害を目論んでいた時平の家来。その白状を聞いた菅丞相の形相は一変するのです。白太夫による飄逸な牛の講釈のち、菅丞相が憤怒により雷神の姿に変ずるといふ展開で、御霊信仰の対象である道真のイメージを投影された姿が描かれます。

第二部 午後3時開演(午後6時15分終演予定)

寿式三番叟

能楽で特別な曲とされる「翁」を移したもので、颯爽とした千歳の舞、天下泰平、国土安穩の祈りを込めた翁の莊重な舞、そして対照的に三味線の華やかな演奏に乗って、二人の三番叟が五穀豊穡の祈りを込めて躍動的に舞います。五十七年の長きにわたり名舞台が展開されたこの劇場とそれを支えてくださったすべての方々に感謝し、新劇場の豊かな前途を祈念して上演します。

菅原伝授手習鑑

四段目「北嵯峨」菅丞相の御台所が身を避ける北嵯峨の侘び住まい。ここにも時平の探索の手が忍び寄るのです。昭和四十七年(一九七二)以来五十二年ぶりの上演。不審な山伏は何者なのか……夫・桜丸に続く八重の悲劇と次の「寺子屋」に続く伏線が敷かれます。

寺入り／寺子屋 武部源蔵と戸浪の夫婦は寺子屋を営み菅丞相の子・菅秀才を匿っています。その寺子屋に今日も新たな入門者が訪れます。しかし、時平の追及は源蔵にも及び、菅秀才の身に危機が迫ります。そして源蔵はある決意を胸に秘めるのです。劇的展開の素晴らしさでは屈指の場面「寺子屋」。源蔵夫婦の苦衷、首実検の緊迫、そして名曲「いろは送り」の哀調、見どころ聴きどころの連続です。

五段目「大内天変」都が不穏な情勢となり祈禱が執り行われる宮中で、次々に怪異な現象が発生します。それは権勢におごる時平にも襲い掛かり、事態は風雲急を告げるのです。大団円のこの場面も昭和四十七年以来的上演で、齋世親王と菅原家の復権を描きます。

曾根崎心中

曾根崎新地の露天神での心中事件を近松門左衛門が脚色した世話浄瑠璃です。初演(一七〇三)後程なく上演が途絶えましたが、近代に復活の氣運が高まり、昭和三十年に上演されるや、文楽を代表する人気演目となりました。初代国立劇場最後の文楽公演はこの極め付きの名作で締めくくります。

生玉社前／天満屋／天神森 主人に返す銀を九平次に騙し取られてしまった平野屋の手代・徳兵衛。馴染みの天満屋の遊女・お初のもとへ忍んで来た徳兵衛を、お初は縁の下に招き入れます。主人への義理も果たせず、世間からの信用も失った徳兵衛がお初の足首を取って喉笛にあて、死の覚悟を伝えます。あの世で一緒になることを誓い合った二人の死出の道行が「この世の名残、夜も名残……」名調子に綴られ、二人の最期を美しく描きます。



令和5年 8月31日(木) - 9月24日(日)

※7日(木)・15日(金)は休演 各部休憩がございます 字幕表示がございます

予約開始 7月14日(金) 午前10時

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時～午後6時] 0570-07-9900 03-3230-3000 (一部IP電話等)

【インターネット】 国立劇場チケットセンター 検索

窓口販売開始 7月15日(土) (チケット売場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

◎ご観劇料(各部・税込) [1等席] 8,000円 / [2等席] 7,000円
学生 [1等席] 5,600円 / [2等席] 4,900円

※障害者の方は2割引です(他の割引との併用不可)。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。 ※出演者などの変更の場合はご了承ください。

■プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/> e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

東京・半蔵門 国立劇場 小劇場 〒102-8656 千代田区隼町4-1 03-3265-7411(代表) <https://www.ntj.jac.go.jp/>



- 地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩5分 有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
- 都バス 都03(晴海埠頭一銀座四丁目一四谷駅)(三宅坂)徒歩1分(本数僅少) 宿75(新宿駅西口一河田町一四谷駅前一三宅坂)(三宅坂)徒歩1分(本数僅少)
- 駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

国立劇場 託児室

月・水・土・日・祝日に開室/事前のご予約をお願いします。

料金 [0~1歳] 2,200円 / [2~12歳] 1,100円(税込)

ご予約・お問合せ 株式会社明日香 <https://www.g-asuka.co.jp/> 0120-165-115 [受付時間] 平日午前9時～午後5時

伝統芸能を未来につなぐ くらごちゃんファンド(国立劇場基金) ~国立劇場各館の事業に皆様のご支援をお願いいたします~

お問合せはこちらから ▶▶ 03-3265-6719 くらごちゃんファンド